



沿革・あゆみ

昭和 25年 7月 大蔵大臣より土別信用組合設立認可 本店、土別支店開設
 昭和 26年 5月 大蔵大臣より名寄信用組合設立認可 本店開設
 6月 美深支店開設
 昭和 27年 1月 信用金庫法の公布により名寄信用金庫に改組
 1月 信用金庫法の公布により土別信用金庫に改組
 2月 剣淵支店開設
 9月 下川支店開設
 昭和 28年 4月 国民金融公庫代理業務取扱開始
 5月 風連支店開設
 7月 朝日支店開設
 昭和 29年 1月 和寒支店開設
 2月 中川支店開設
 昭和 30年 4月 住宅金融公庫代理業務取扱開始
 12月 中小企業金融公庫代理業務取扱開始
 昭和 31年 9月 温根別支店開設
 昭和 34年 1月 全国信用金庫連合会代理業務取扱開始
 12月 多寄出張所開設(昭和37年5月支店昇格)
 昭和 39年 4月 下川町指定金融機関として事務取扱開始
 8月 土別北支店開設
 12月 音威子府支店開設
 昭和 40年 4月 中川町指定金融機関として事務取扱開始
 昭和 43年 10月 旭川中央支店開設
 昭和 45年 6月 名寄市指定金融機関として事務取扱開始
 9月 旭川支店開設
 昭和 46年 11月 本店現店舗新築
 昭和 48年 9月 土別支店開設
 12月 東光支店開設
 昭和 49年 12月 旭川北支店開設
 昭和 50年 10月 普通預金オンライン開始
 昭和 51年 1月 和寒町指定金融機関として事務取扱開始
 4月 風連町指定金融機関として事務取扱開始
 10月 全国信金為替オンライン開始
 昭和 52年 11月 日本銀行歳入代理店として事務取扱開始
 昭和 53年 4月 朝日町指定金融機関として事務取扱開始
 昭和 54年 2月 全銀為替オンラインスタート
 9月 音威子府村指定金融機関として事務取扱開始
 10月 金星橋支店開設
 11月 中央通支店開設
 昭和 55年 12月 日本銀行との当座取引開始
 昭和 56年 6月 国債代理店として認可を受ける
 昭和 57年 2月 全店オンライン開始
 10月 公園通支店開設
 昭和 59年 2月 総合オンラインシステム完了
 6月 国債等窓口販売業務取扱開始
 昭和 63年 10月 信金共同事務センター第3次オンラインシステム開始

平成 2年 7月 MICS(全国キャッシュサービス)加入による自動機態間提携開始
 10月 ふれあい支店開設
 平成 5年 6月 定期預金金利の完全自由化
 9月 温根別支店を廃し本店に統合
 平成 6年 10月 流動性預金金利の完全自由化
 平成 9年 1月 信金共同事務センターポスト第3次オンラインシステム開始
 平成 11年 10月 郵貯ATMとの相互接続開始
 11月 土別支店を本店土別出張所に変更
 平成 12年 3月 デビットカードサービス取扱開始
 4月 ATM手数料道内信金業界内で無料化実施
 4月 テレホンバンキング開始
 8月 モバイルバンキング取扱開始
 12月 全国しんきんゼロネットサービス取扱開始(ATM・CD手数料無料化)
 平成 13年 3月 スポーツ振興くじtoto払戻し業務取扱開始
 3月 損害保険窓口販売業務取扱開始
 5月 「レンガの家きらり」オープン
 11月 多寄支店を土別中央営業部多寄出張所に変更
 平成 14年 2月 永山支店開設
 4月 土別市病院事業会計指定金融機関として事務取扱開始
 10月 生命保険窓口販売業務取扱開始
 平成 15年 11月 第5次全国銀行データ通信システム稼働
 平成 16年 1月 マルチペイメントネットワークサービス取扱開始
 3月 国民生活金融公庫との業務連携協力開始
 4月 中小企業金融公庫との業務連携協力開始
 7月 剣淵町指定金融機関として事務取扱開始
 10月 インターネットバンキング取扱開始
 10月 決済用預金取扱開始
 平成 18年 6月 名寄信用金庫と土別信用金庫が「合併基本協定書」に調印
 平成 19年 10月 両金庫合併し新生「北星信用金庫」誕生
 平成 20年 3月 名寄市立大学と「産学連携協定に関する協定書」調印
 平成 21年 4月 旭川中央支店廃止
 6月 札幌支店開設
 平成 22年 9月 多寄出張所廃止
 平成 23年 10月 土別中央営業部リニューアル・オープン



土別中央営業部リニューアル・オープンテープカット



土別中央営業部